

南小学校地域安全サポーター(中津川市)

～子供を見守りながら、地域の人たちとともに、安全・安心の文化を育てよう～

【団体のプロフィール】

代 表 者	南小学校 PTA 会長 庄司 貞宏
結 成	平成16年5月から
活 動 人 数	(結成当時)165人 (平成20年6月末現在) 220人余り
メ ン バ ー 構 成	中津南地区住民、PTA会員



(地域安全サポーターの子ども見守り活動①)



(地域安全サポーターの子ども見守り活動②)

【活動のきっかけ】

- 平成16年5月当時は、学校内への不審者進入による児童殺傷事件や、登下校時の児童つれさり等の事件が全国的に目立っており、地域に開放された学校という位置づけで設計され、塀や門扉のない開放的な学校である南小学校において、登下校時の子どもの安全を保護者の目だけではなく、地域で守って行こうと、学校とPTAが呼びかけを行い、安全、安心な地域づくりの活動を行っていくこととした。
- 平成16年7月、活動を進めていく中で、地域の声として、学校からの情報が十分に与えられないと子どもの安全を守っていくのは難しいということで、学校と地域、PTAが協力するための組織「南小学校地域安全連絡会議」を設け、定期的な意見交換を行っていくこととした。
- 平成16年11月、呼びかけを行い集まっていた方を「南小学校地域サポーター」として委嘱し、子どもの見守り活動を開始した。

【活動を始める際に用意したもの、最初の相談先】

用 意 し た も の	<p><子どもの見守り活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 腕章、帽子【中津川市生活安全課】 ※ 希望制。着用したほうがよいという人としなければならないのかという人もいたので、着用は自由としている。 車をかたどった黄色の安全プレート【PTA予算で作成】
最 初 の 相 談 先	<p><子どもの見守り活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 特になく、学校とPTAが中心となって始めた。



(車をかたどった黄色の安全プレート)

【活動区域、活動内容】

活動区域	南小学校区の通学路
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <p>・ 子どもの見守り活動【随時】 南小学校地域サポーターが行う活動は、子どもの登下校時間にあわせ、無理のない範囲で、気軽にできる取組(犬の散歩時、外出時、日常生活の合間など)としている。あわせて、子どもたちへのあいさつ運動を行う。 また、年1回「南小学校地域安全サポーター会議」を開催し、活動内容のフィードバックや問題解決に向けた取組を進めている。</p> <p>・ 地域安全連絡会議の開催【学期毎に1回程度】 南小学校区の各区長、老人会南会長、社会福祉協議会南支部長、民生・児童委員協議会南会長、南分会少年補導部長、南小学校評議員、南幼稚園長、第二中学校、PTA、南小学校により構成。 会議の結果については、会議報告を作成し、回覧板を通じてPRしている。</p> <p>・ 車をかたどった黄色の安全プレートの作成・配布【随時】 希望者に配布し、車のフロントガラスや窓につけてもらい、地域で、車からも、子どもを見守っていることをアピールしている。</p> <p>・ 地域とのつながり、連携を強めるために、次のようなことも実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みのラジオ体操への参加と、地域の方々への呼びかけ ○ 中津川市の防災訓練への親子の参加 ○ 地区懇談会に、区長、青少年健全推進委員の参加を依頼 ○ 母親委員会主催で、朝の登校時にはPTA役員が中心となり、子どもたちへ声をかけるあいさつ運動を実施



(朝のあいさつ運動(母親委員会主催))



(地域安全サポーターの子ども見守り活動③)

【活動を継続的に行うために工夫していること】

- 平成18年10月、地域安全サポーターの活動が3年目に入り、活動参加者も200名以上となったことから、活動の趣旨と内容をより理解しやすい形で表現しようと活動方針を地域安全連絡会議で決定した。

○地域安全サポーター活動方針(平成18年10月23日南小学校地域安全連絡会議)

【目的】「子供を見守りながら、地域の人たちとともに、安全・安心の文化を育てよう」

【活動内容】子どもたちが、自分の安全は自分で守ることができるように目を配り、子供たちが危険な状態におちいらないように、以下の活動を行う。

- ① 子たちに声をかける。(あいさつが出来る子供を育てる)
- ② 自分の力で安全な登下校ができるように、子供たちを見守る。
- ③ 子どもたちが危険なことをするのを見掛けたら、子どもに何が危険かを教えて注意をする。

【これから活動を始めるボランティアの皆さんへのアドバイス】

- 活動に参加してもらう方々は、定年された方やお年寄りの方が多いと思います。
このため、「普段の生活の中で、無理のない範囲で子どもたちに声をかけることで、お互い挨拶ができるようになり、子供たちの安全を見守っていくようになってほしい。できることからやってもらえればいい。」と投げかけることが大切だと思います。
また、活動する中で、子供の安全に目を向けることで、女性やお年寄りを含めた地域全体の安全につながることを実感していただけたと思います。